

# 総務企画委員会 県内所管事務調査の概要

【平成27年6月4日（木）】

## ◆調査箇所：臼杵石仏会館（臼杵市深田）

＜概要＞

国宝臼杵石仏の入口に設置された臼杵石仏会館を訪問し、臼杵市役所ふるさと建設部産業観光課から県の「地域活力づくり総合補助金」を活用して整備された観光案内看板、臼杵石仏会館の受付窓口やトイレなどの施設改修やおもてなし研修、広告強化等のPR事業等について説明を受け、意見交換を行った。

臼杵市は、東九州自動車道の全線開通を見据え、市内の観光施設の魅力アップを図り、誘客を促進するため、本事業を実施した。



＜主な質疑等＞

- ・ 東九州自動車道開通の影響について
- ・ 観光周遊コースの設定について
- ・ 子どもガイドの活用について

## ◆調査箇所：松尾・鷲谷振興協議会（豊後大野市三重町）

＜概要＞

豊後大野市三重町内の4つの自治会で構成される松尾・鷲谷振興協議会を訪問した。

松尾・鷲谷振興協議会は、「赤い屋根の郷」と名付けた「旧三重南小学校」を活動の拠点施設として、桜祭り、川遊びフェスタ、体験農業・収穫祭、福祉活動等、地域を活性化し、連帯を深める活動を展開している。

なお、「赤い屋根の郷」は、県の「里のくらし支援事業」を活用し、厨房や食堂、トイレや休憩所等を整備している。



＜主な質疑等＞

- ・ 施設の維持管理経費の負担について
- ・ 地区住民の健康対策について
- ・ 地区住民の買い物、通院等の支援について

## ◆調査箇所：農業生産法人くしふるの大地（豊後大野市三重町）

＜概要＞

豊後大野市三重町の農業生産法人くしふるの大地は、民間企業が社員教育の一環として農業に参入したものであるが、現在は、栽培した農産物を大手スーパー等にも出荷するとともに、NECと共同で原価ソフトの開発や営農者、三重農業高校卒業生とのネットワークの構築などの活動を展開している。

なお、事業の拠点は旧三重農業高校「重政農場」は、県の「地域活力づくり総合補助金」を活用し、老朽化した施設を改修している。



＜主な質疑等＞

- ・ 今後の収支見通しについて
- ・ 地元の雇用状況について
- ・ 研修生に対する研修計画について

#### ◆調査箇所：豊肥振興局、豊後大野県税事務所

##### <概要>

豊肥振興局については、管内の概要、組織の説明の後、当委員会の所管である総務部関係は選挙関係、広報広聴、危機管理対策等について、企画振興部関係は、小規模集落対策事業、里のくらし支援事業、地域活力づくり総合補助金等について、豊後大野県税事務所については、平成26年度県税決算見込み、調定額・徴収率の推移、徴収率向上に向けた市町村との連携等について、それぞれ説明を受け、質疑、意見交換を行った。



##### <主な質疑等>

- ・小規模集落応援隊の活動状況について
- ・地域活力づくり総合補助金の申し込み状況について
- ・地方創生に係る市町村との連携について

#### 【平成27年6月5日（金）】

#### ◆調査箇所：佐伯市菓子組合（佐伯市鶴望）

##### <概要>

佐伯市菓子組合では、東九州自動車道開通後の観光客の増加を見通し、地元産の食材を活用した佐伯を代表する土産物の開発に取り組むこととした。

平成26年4月に佐伯産のイチゴを使用した洋菓子「佐伯藩 菊姫物語」、平成27年3月に佐伯産の小豆を使用した和菓子「佐伯銘菓 歴史と文学の道」を開発し、地元の菓子店や道の駅等で販売を開始した。

なお、菓子の開発等には、県の「地域活力づくり総合補助金」を活用している。



##### <主な質疑等>

- ・菓子の味を統一するための研修（工夫）について
- ・菓子の販売促進策について

#### ◆調査箇所：南部振興局、佐伯県税事務所

##### <概要>

南部振興局については、管内の概要、組織、重点事業の説明の後、当委員会の所管である総務部関係は広報広聴、選挙啓発について、企画振興部関係は、地域振興関係業務（地域振興施策、観光振興、小規模集落対策等）について、佐伯県税事務所については、平成26年度県税決算見込み、個人県民税の徴収対策、自動車税の徴収強化等について、それぞれ説明を受け、質疑、意見交換を行った。



##### <主な質疑等>

- ・地域活力づくり総合補助金の事業評価について
- ・東九州自動車道開通後の入込客の状況について
- ・小規模な自治区の統合について

#### ◆調査箇所：海べ株式会社・かまえインターパーク（佐伯市蒲江）

##### <概要>

かまえインターパークは、東九州自動車道蒲江インターチェンジの側に、県の「地域活力づくり総合補助金」を活用して整備し、平成27年3月にオープンした。

当施設は、地元食材の使用による地域産業の活性化、雇用の場の確保、県南地域の観光情報の発信等を目的として整備されたもので、施設内で直売所「海べの市」、「レストラン魚笑」等が営業している。



##### <主な質疑等>

- ・施設整備に係る資金計画（補助金・自己資金等）について
- ・施設の雇用者数等について
- ・施設の利用者数、収支状況について

#### ◆調査箇所：公益財団法人大分県自治人材育成センター（大分市旦野原）

##### <概要>

大分県自治人材育成センターは、大分県内の自治体職員の人材育成に関する事業（研修）を行うことにより、自治体職員の資質の向上等を図り、ひいては住民福祉の増進と地域の発展に寄与することを目的としている。

当センターは、県職員と市町村職員の研修を一元的に行うため、大分市旦野原の旧大分県職員研修所跡地に平成25年度整備された。研修体系等の説明を受けた後、質疑、意見交換を行い、施設内を見学した。



##### <主な質疑等>

- ・県職員と市町村職員の合同研修の実施状況について
- ・講師の選定について
- ・施設の利用率、民間への貸し付けについて

#### 【平成27年6月10日（水）】

#### ◆調査箇所：別府ロープウェイ株式会社（別府市南立石）

##### <概要>

別府ロープウェイでは、高齢者や身体障害者等の車いす利用者の安全性や利便性向上のための車いす用斜行型段差解消機、外国人観光客の受入環境向上のためタブレット型の多言語対応音声ガイドを、県の「地域活力づくり総合補助金」を活用して整備した。

当日は、音声ガイドを利用しながらロープウェイで鶴見岳山頂まで登頂するとともに、施設整備箇所・誘客対策等の説明を受けた後、意見交換を行った。



##### <主な質疑等>

- ・外国人観光客の状況について
- ・火山噴火対策について
- ・鶴見岳周辺的环境対策について

## ◆調査箇所：東部振興局、別府県税事務所

### <概要>

東部振興局については、管内の概要、組織の説明の後、当委員会の所管である総務部関係は危機管理、選挙関係、広報広聴等について、企画振興部関係は、地域の振興対策（地域活力づくり総合補助金、小規模集落対策、買い物弱者対策等）、観光の振興等について、別府県税事務所については、課税・徴収に関する重点取組事項、平成26年度県税決算見込み、税目別調定額・徴収率の推移等について、それぞれ説明を受け、質疑、意見交換を行った。



### <主な質疑等>

- ・地方創生に関する市町村へのサポートのついて
- ・小規模な自治区の統合について
- ・法人に対する課税調査の方法について

## ◆調査箇所：株式会社ハナマル食品（国東市国東町）

### <概要>

株式会社ハナマル食品は、本県で水揚げされる鮮魚を寿司の具材や切り身などの加工品に、また、規格外品を練り物等に加工する施設を国東市に整備した。

加工場の運営により、地域の雇用の場が確保されるとともに、付加価値の高い加工品の製造により水産物の流通価格がアップし、漁業者の所得向上が期待できることから、加工場の整備には、県の「地域活力づくり総合補助金」を活用している。

概要説明・施設見学の後、意見交換を行った。



### <主な質疑等>

- ・地元の雇用者数について
- ・原料（水産物）の確保について
- ・環境対策について

## ◆調査箇所：杵築市大田地区

### <概要>

杵築市の旧太田地区は、ガソリンスタンドが1軒だけ（小関石油）に減少する一方、高齢化の進行等により地区住民の生活に欠かせない灯油の購入が課題となっていた。

このため県の「買い物弱者支援事業」を活用し、灯油の配送を希望する家庭に灯油タンクを設置。事業者の小関石油が、各家庭に灯油を巡回配送しながら、高齢者等の声かけ・見守りを行う仕組みを整備した。



### <主な質疑等>

- ・灯油タンクの安全（盗難）対策について
- ・設置費用（個人負担分）、配送料について
- ・設置家庭の増加対策について

【平成27年6月15日（月）】

◆調査箇所：木の花ガルテン五馬媛の里（日田市天瀬町）

<概要>

木の花ガルテン五馬媛の里は、大分大山町農協が、都市と農村の交流をテーマとする「農業者のテーマパーク」として平成27年3月に開園させたもので、トイレの整備などに県の「地域活力づくり総合補助金」が活用されている。

今後は、農業体験イベントなどの充実・里山散策等により入場者数の増加を図り、地元雇用の創出を目指している。

施設の概要説明、見学の後、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・今後の施設整備計画について
- ・施設（園内）の維持管理について
- ・地元雇用について

◆調査箇所：おすそわけ野菜のレストラン松原（日田市大山町）

<概要>

おすそわけ野菜のレストラン松原は、2年前に閉店したドライブインを県の「地域活力づくり総合補助金」等を活用して改修し、日田ソーシャルビジネス研究会が主体となって運営している。

食材は、地元産にこだわり、特に野菜類は、地域の高齢者の見守り活動を行っているNPOつえ絆くらぶが、高齢者の見守りとあわせて回収している。

なお、研究会は、日田駅前の賑わいづくりなどの地域活性化にも取り組んでいる。



<主な質疑等>

- ・レストランの利用者数について
- ・野菜の提供者について
- ・日田ソーシャルビジネス研究会の活動内容について

◆調査箇所：西部振興局、日田県税事務所

<概要>

西部振興局については、管内の概要、組織の説明の後、当委員会の所管である総務部関係は危機管理、交通安全、選挙関係等について、企画振興部関係は、地域振興（地域振興施策、小規模集落対策等）、観光の振興について、日田県税事務所については、平成27年度重点実施事項（課税・徴収）、平成26年度県税決算見込み、県税調定額の推移等について、それぞれ説明を受け、質疑、意見交換を行った。



<主な質疑等>

- ・滞納処分の状況について
- ・投票率向上対策（特に高校生）について
- ・デスティネーションキャンペーンの状況について

【平成27年6月16日（火）】

◆調査箇所：奥耶馬さるとび村・さるとび茶屋（中津市山国町）

＜概要＞

奥耶馬さるとび村は、中津市山国町草本地区の住民が、コミュニティの活性化や生きがいを目的として結成した地域おこしグループで、地域の歴史の学習、農産加工品の販売、炭焼小屋体験交流、レストラン「さるとび茶屋」の運営等に取り組んでいる。

各種事業や「さるとび茶屋」の備品整備等に県の「里のくらし支援事業」が活用されており、活動内容の説明を受けた後、意見交換、炭焼小屋見学を行った。



＜主な質疑等＞

- ・各種行事への参加状況について
- ・スリランカ留学生との交流について
- ・誘客対策について

◆調査箇所：北部振興局、中津県税事務所

＜概要＞

北部振興局については、管内の概要、組織の説明の後、当委員会の所管である総務部関係は選挙事務、防災組織等について、企画振興部関係は、地域活力づくり総合補助金、小規模集落対策、広域観光の振興について、中津県税事務所については、平成26年度県税決算見込み、県税調定額・徴収率の推移、平成27年度重点事項等について、それぞれ説明を受け、質疑、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・東九州自動車道開通の影響について
- ・自動車税の滞納対策について
- ・観光周遊バス（二次交通対策）について

◆調査箇所：社会福祉法人みづほ育成会・高田みづほ園（豊後高田市呉崎）

＜概要＞

豊後高田市田染地区・東都甲地区は、高齢化率が高く、市の調査で住民に買い物に対する不安割合が高かったことから、高田みづほ園の指導員と障がい者がペアとなって、日用品・食材・総菜等を希望者に個別配送する仕組みを整備した。

本事業は、県の「買い物弱者支援事業」を活用しているが、障がい者の社会参加・就労支援の促進、高齢者の安否確認等にも寄与している。事業の概要説明を受けた後、意見交換、施設見学を行った。



＜主な質疑等＞

- ・障がい者の工賃について
- ・商品の注文方法等について
- ・他地区の事業要望について

#### ◆調査箇所：都甲史戴星塾（豊後高田市新城）

##### <概要>

豊後高田市都甲地区では、郷土の偉人である「吉弘統幸」公を祀る400年祭を契機として、吉弘公や郷土史をテーマとした活動を行うため、400年祭のメンバーが中心となって、平成25年に都甲史戴星塾を組織した。

活動の拠点は廃校となった「旧都甲小学校」の校舎で、県の「里のくらし支援事業」を活用し、学習会、研修会、シンポジウムの開催、吉弘公に関する史跡の案内看板の整備等を行っている。事業の概要説明を受けた後、意見交換、施設見学を行った。



##### <主な質疑等>

- ・施設の維持管理費、会の活動費について
- ・小中学校生に対する「郷土の偉人」教育について

#### 【平成27年6月26日（金）】

#### ◆調査箇所：中部振興局、公文書館、大分県税事務所

##### <概要>

中部振興局については、管内の概要説明の後、当委員会の所管である地域振興、観光振興等について、公文書館については、施設の概要、公文書の選別、収集等について、大分県税事務所については、平成26年度県税決算見込み、主要税目の調定額の推移、市町村との連携による徴収強化対策等について、それぞれ説明を受け、質疑、意見交換を行った。



##### <主な質疑等>

- ・中心市街地循環バスの利用状況について
- ・公文書館の利用状況について
- ・マイナンバー制の開始による税収への影響について

#### ◆調査箇所：竹町商店街シェルター（大分市中央町）

##### <概要>

本事業は、オアシスひろば21から竹町商店街間の舗道上に、シェルター（屋根）を設け、天候に左右されない歩道空間を提供し、中心市街地における回遊性の向上を目的に整備されもので、県の「地域活力づくり総合補助金」が活用された。



##### <主な質疑等>

- ・風対策について

#### ◆調査箇所：県立美術館

＜概要＞

平成27年4月24日にオープンした大分県立美術館の概要、入館者の状況、美術館を活用した主な事業、他館との連携等について説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。

引き続き、新見館長の案内で美術館を見学した。



＜主な質疑等＞

- ・小学生ファーストミュージアム体験事業の状況について
- ・開館後の施設の課題について
- ・ワークショップの詳細について

#### ◆調査箇所：公立大学法人大分県立芸術文化短期大学

＜概要＞

大分県立芸術文化短期大学の組織、教育課程、志願者・入学者の状況、卒業生の進路状況等について、また、「大分県立芸術文化短期大学キャンパス整備基本構想」の概要について説明を受けた後、質疑、意見交換を行った。

引き続き、中山学長等の案内で、学内を見学した。



＜主な質疑等＞

- ・県立緑丘高校との連携について
- ・芸術系の学生の就職状況について
- ・キャンパス整備の予定について